前年10、11月に於ける大陸高気圧の消長に影響される事が大である。従つて、晩秋から初冬に於ける大陸高気圧の消長が富山の翌春気温に或る程度まで比例して居るので長期豫想の目安になる。今まで述べた事はすべて気圧との相關であるが、他日機会を改めて種々の氣象要素に依り調査したいと思つてゐる。

終りに有益なる御示唆並びに御注意戴いた大谷先生及富山測候所長兼技師、御協力並びに御激勵を戴いた富山測候所の先輩諸兄及後友諸兄に厚く謝意を表する次第である

(於富山測候所)

神通川の水溫に就いて*

舟田久元**

富山測候所では昭和15年6月以來毎日9時に神通川の水溫を測つてをり、資料も2年餘整つたので其の調査を命ぜられたが、今回急に所務を離れることになつたので今のところ材料を取揃へただけでまとまつたものは何もないが氣付いた點を2、3報告する。

別圖は昭和17年に於ける気温及び水溫の旬平均値を以て表はした年變化の状態である(気温、水溫共9時觀測である)これによると冬季は水溫が気温より高く夏には反對になる3月上旬と11月中旬には水溫、気温共同じ示度になり兩曲線は交つてゐる

兩曲線の上昇、下降は全くよく似てをり夫々の
前旬との差の相關係数は+0.82となる。旬平均値を用いたのでよく似た形になつたかも知れぬが大體に於いて水溫と気温は關係が深いと認められる4月中旬と6月下旬に於いて水溫、気温共前旬より低くなつてゐるが、6月下旬は梅雨期で曇天で降水量も50耗餘あつたので気温も水溫も低くなつたものと思はれる4月中旬の低温は別に天氣の不良によるものと認められないが強ひて言へば次の様なことが挙げられる

(イ) 全般的に最低地溫が低い。

(ロ) 西乃至北西の風が多いこと

* H. Funada: On the Water Temperature of the Jintsu River.

** 富山測候所

い) 雲量に無関係だが比較的日射量の少いこと、又水温に就いては山岳地帯の融雪水の流入も考へられる、

これ等のことに就いては次の機会に詳細調査したいと思つてゐる

別圖で兩曲線の最もよく似てゐるのは7月、8月の頃で兩者の相關係數は昭和15年7月では+0.44、8月では+0.61、昭和17年7月では+0.83、8月では+0.51である(毎日の値による相關)。

3月上旬の水温と気温と同じになる頃の兩者の關係(日々の値に依る)は複雑であるが、9時の気温と敦賀の海水温度とは多少相關がある($r = +0.50$)ことを附記してこの第1報を終る。

〔附 記〕

筆者舟田久之君は昭和18年4月氣象技術官養成所本科に入學され、それまでの資料を提出されたので、代つて本稿を記した次第で誤記があるかも知れぬが寛恕されたい (昭和18年5月 青記す)